

釣具界

発行所 (株)釣具界
東京都千代田区神田淡路町2-21
〒101-0063 山崎ビル2F
電話03(3251)0995
FAX03(3251)0996
tsurigokai@taupe.plala.or.jp
郵便振替口座00150-2-36718
©釣具界

It's Wonder Line
8本編みて 驚異の強さ。
UNIFIKA
FISHING LINE
www.unifika.co.jp/fishing/

紙面案内

2面 上州屋・東レがヘキサ釣り大会
マルキユーGカップ九州チヌ決勝
ピュニアフィッシングが東北で大会

3面 釣用品ガイド
DAIWA エンジン、ティカJ
シマン、ユニチカ、ミヤマエ
マルキユー、アルファタックル

4面 中川船着所水辺釣り場開催
つりエッセイがキス釣りスクール

公益財団法人 日本釣振興会 第1回評議員会を開催



公益財団法人として日釣振の第1回評議員会を開催

新会長に高宮俊諦氏 新たな評議員で議案を審議する



高宮俊諦会長

(公財)日本釣振興会 会長として任期中を振り
返り、その業務実績など
の第1回評議員会を5月
31日、東京・八丁堀の日
本フィッシング会館にて
開催。平成23年度の事業
実施結果と収支決算など
を審議し、役員改選では
新会長に高宮俊諦氏が就
任した。

評議員会は、高橋裕夫
事務局長の司会で開会。
まず評議員14名を紹介。
横濱猛夫監事が定足数を
確認してから、今回、退
任する松井義博会長が挨拶、日釣振の副会長から

者として合計63件の表彰
者を発表、それぞれ表彰
基準などの代表者に感謝
状などを贈呈した。
それから河合正典評議
員が議長となり議事を進
行した。

その議案の審議では、
清宮栄一専務理事が平成
23年度の事業実施結果と
収支決算、公益財団法人
の認定と登記について説
明、横濱猛夫監事が監査
報告をして、いずれも異
議なく承認。

役員改選に関しては
5月18日の第1回理事会
で承認した役員候補案
を読み上げて、その提案
どおり承認した。そして
新役員が別室で会長、副
会長など互選して評議員
会に報告。高宮俊諦会長
はじめ新任の役員が挨拶
した。(新役員と評議員
リストは別掲)

次に報告事項として、
平成24年度の事業計画、
予算を説明した。今年度
の事業計画では公益目的
の事業として魚の資源保護
増進(水辺と水中の清掃
活動)、各種釣り講座・
釣り体験教室、釣り文化
資料室の運営を前提に、
釣りの普及、安全
対策の啓発、釣場の拡大
活動への抱負を語った。
また、日釣振の名譽会長
である麻生太郎衆院議員、
小淵優子議員、松野頼久議員、
大家敏志議員

以上で第1回評議員会
を終了、高宮俊諦副会長
が閉会の辞を述べた。
その後の懇親会では、
高宮俊諦会長が改めて新
任の挨拶をして、日釣振
の歴史を振り返ると共に
アンバサダーの児島玲子
さんが花束を贈呈。湖底
海底清掃において多大な
協力をしたボランティア
ダイバーらも表彰した。

また、松井義博前会長
松野頼久衆院議員、大家
敏志参院議員らが祝辞を
述べた。

同連盟の今村雅弘衆院議
員、小淵優子衆院議員、
玉置支部「みんなて遊ほ
ろ」フィッシング祭り事務
局「FAX048・72
8・30923。申し込み
締め切りは7月25日、
協賛金の振り込み期限は
9月30日。

その他にもチャリティ
オークション、スタンプ
ラリーなど景品の提供も
依頼している。それらの
収益は「彩の国みどりの
基金」への寄付と当日の
魚の放流代に充当する。
プース出展、協賛など
詳細については同事務局
へ。電話048・72
8・0964。

新役員と評議員一覧

(公財)日本釣振興会 役員協同組合 高澤政信
の新年度の新役員と評議
員は次のとおり(敬称
略)。

会長 高宮俊諦(タカ
ミヤ)。
副会長 大藤勲(大阪)
専務理事 清宮栄一
(日本釣振興会)。
常務理事 牧野利春
(アイビック) 橋本俊哉
理事 石黒衆(イシグ
リシジョン) 梶川曜司
(シマン) 柏瀬蔵(オジ
イ) 鈴木康友(つり人
社) 鈴木健一(上州屋)
藤井治幸(全国釣竿公正
取引協議会) 藤掛進(ク
ロブライド) 来田仁成
(日本舟艇工業会) 西岡

(全日本釣り団体協議
会)。
理事 石黒衆(イシグ
リシジョン) 梶川曜司
(シマン) 柏瀬蔵(オジ
イ) 木村隆司(ミリオ
ンエコー出版) 久場幸信
(林釣漁具製作所) 嶋菜
由美(ハヤサ) 谷倉康
増田豊(ティムコ)。
(評議員)

相吉孝頭(日本友協会
連盟) 天野礼子(作家)
飯島正宏(東京湾遊漁船
業協同組合) 海野徹也
(広島大学大学院) 岡田
順三(NPOシヤパンゲ
ムフィッシング協会) 岡
本勲(フィッシングセン
ター) 兼廣春之(施設)。

(大妻女子大学) 河合正
典(レジャースポーツア
イビング産業協会) 坂本
昭夫(海をつくる会) 瀧
川孝次(釣人) 名取清
也(同) 林弘三(同) 矢口
高雄(日本友協会連盟)
安田和彦(熱海海釣り
施設)。

45分から午後3時30分ま
で開場する予定。荒天の
場合は11月11日(日)に
延期。入場無料で、各種
イベントの参加料は無料
もあるが、1回300円
程度の設定。
そのイベントとして、
釣り初め教室、フライ
キャスト教室、幼
児など対象とした釣り
教室、マスつかみ取り
金魚釣り、へらぶな釣り
講習、釣り関連メーカー

出展は一口二枚り
(間口3・6以内)で
メーカー、問屋、3店舗
以上の小売店は3万円、
那珂川の鮎」として七月

日釣振 12フィッシング祭り in しらこぼと出展協賛を

2012年「みんなて遊ほろ」4日(日)、3年ぶりに
遊ほろフィッシング祭り 越谷市のしらこぼと水上
公園に戻って開催する
in しらこぼと」は11月
が、そのプース出展、協
賛を募っている。主催は
僅は(公財) 埼玉県公園
(公財) 日本釣振興会、
緑地協会。

この「みんなて遊ほろ」
フィッシング祭りは、
2007年の秋に越谷の
しらこぼと水上公園にて
1回目を開催、その後、
一昨年と昨年は川越水上
公園で開催、今年に再び
しらこぼと水上公園に舞
台を戻して開催すること
になり、通算すると6回

神川だより

▼六月の日本
列島は入梅
湿っぽく梅雨
冷々気味か。
それで釣況に
異変なければ
いいけれど、
▼各地の河川では次々鮎
釣り解禁して、夏の風物
詩として取り上げられて
いるが、春からの放射能
問題の風評に悩まされて
いる釣場もあり、それを
払拭すべく栃木県の那珂
川では「釣って食べよう